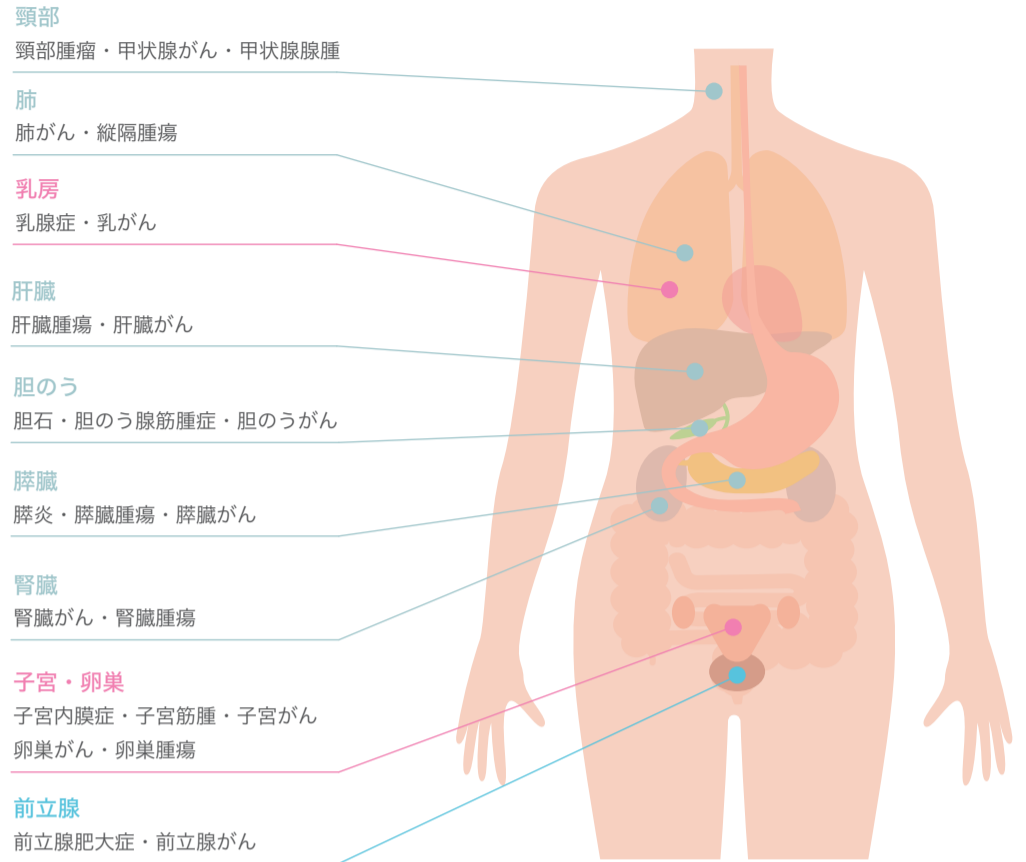




全身 MRI がん検査

● 全身 MRI がん検査とは

全身 MRI がん検査とは、MRI の高性能化によって可能となった全身のがん検出を目的とした検査です。悪性腫瘍が細胞密度の高いことに注目し、細胞間の水の動きをもとに悪性腫瘍を高信号として描出します。1 度の検査でほぼ全身の臓器を調べることができます。同様の全身がん検査を行う PET-CT と比較すると被ばく、注射、食事制限が無く、健診者様への負担も軽減されています。全身 MRI がん検査では PET-CT 検査と比べ、腎がん、尿管がん、膀胱がんの診断に適しています。



● 検査方法

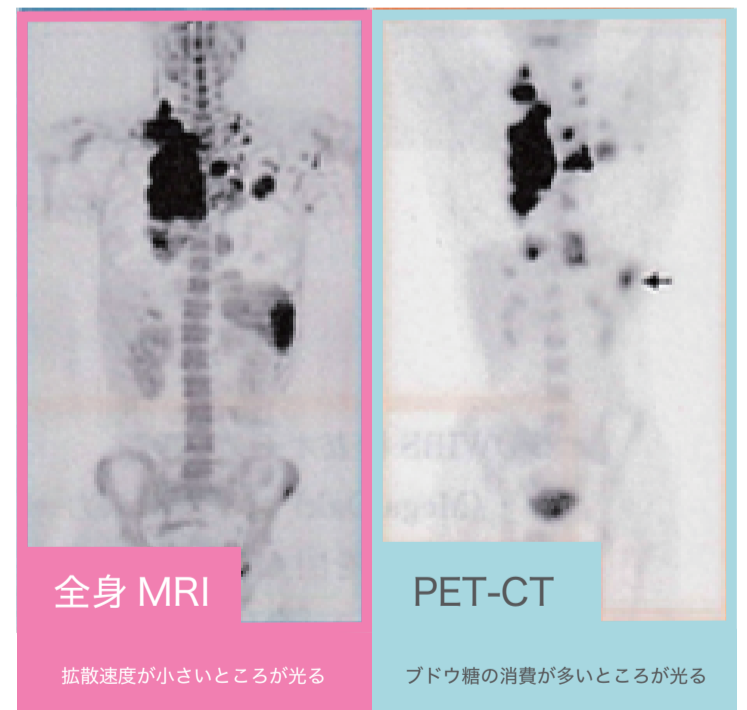
検査時間は 30 分程度です。体の上に検査用のコイルを置かせていただきます。装置の構造上、撮像中は大きな音がするのでヘッドホンを装着していただきます。深呼吸は避け安静な呼吸を心がけてください。(深呼吸は画質の劣化につながります。)

● 全身 MRI がん検査と PET-CT の比較

全身 MRI がん検査と PET-CT の比較表

	全身 MRI がん検査	PET-CT
被ばく	なし	放射線薬品、撮影のための 2 重被ばく
注射	なし	放射線薬品の静脈注射
食事制限	なし	検査前絶食やインスリン制限
検査時間	約 30 分	約 3 時間 (静脈注射含める)
検査後	処置なし	体内の放射能が下がるまで待機

例 悪性リンパ腫



全身 MRI がん検査と PET-CT のがん診断比較表

がん死亡順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
	肺	大腸	胃(初期)	膵臓	肝臓	胆嚢胆管	乳房	悪性リンパ	前立腺	食道	膀胱尿路腎臓	白血病
全身 MRI	○	△	×	○	○	○	◎	◎	○	○	○	×
PET-CT	◎	△	×	◎	○	△	◎	◎	○	△	×	×

※ 全身 MRI がん検査で発見された病変が全てがんというわけではありません。また、小さな病変を検出できない場合もあります。(PET-CT とほぼ同等の感度 70% ほどと言われています)

※ 検出された病変は精密検査や経過観察が必要となる場合があります。